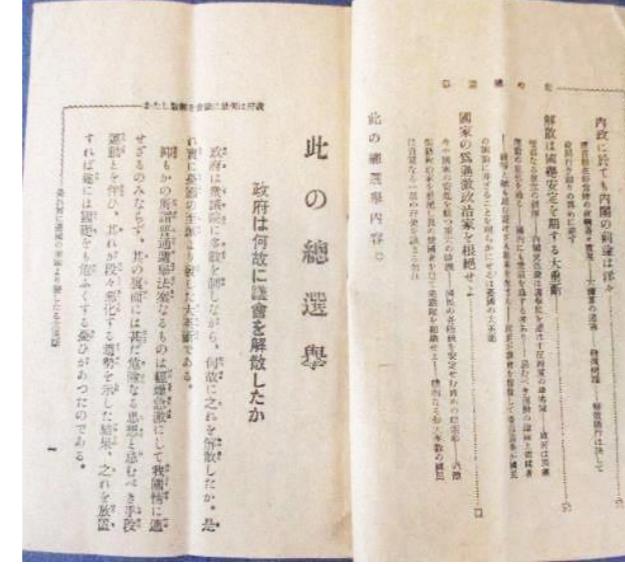
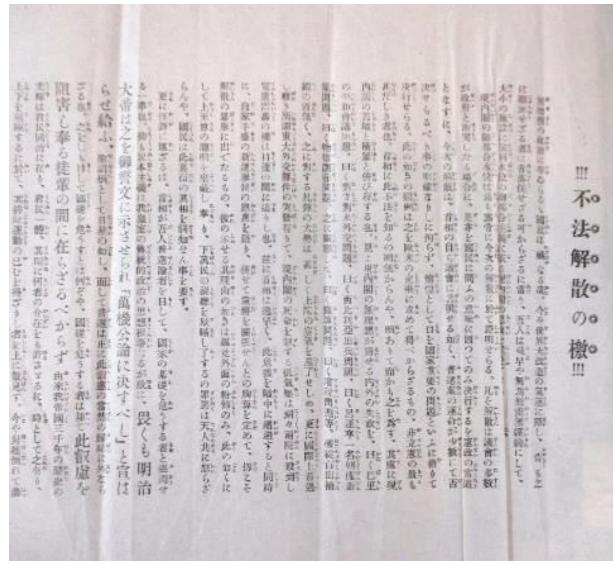


1 主に使用する資料

飯野家 1665 不当解散の檄（内閣及び政友会批判） 飯野家 1666 此の選挙（普通選挙法批判パンフレット）



上の資料は、どちらも原敬内閣の衆議院解散とそのきっかけになった普通選挙法案について記されています。どちらも民衆が結成した政治団体が作成した文書ですが、普通選挙法に対する考え方方が異なります。資料 1665 は、普通選挙法に賛成する立場で、衆議院解散及び立憲政友会を批判しています。資料 1666 は、普通選挙法に反対する立場で、衆議院解散を評価しています。

2つの資料を併せて使うことで、民衆の政治参加に対する気運の高まりと、民衆の中にも普選に対して様々な考えを抱いていたことを伝えることができます。

2 指導例

(1) 本時のねらい

普選運動に関する文書館収蔵資料を調べたり、学芸員の解説を聞いたりすることで、大正期の民衆の意識に触れ、社会運動に関する理解を深める。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 文書館について知る。 ・文書館（古文書、公文書、地図）の紹介を聞くこと。	○紹介スライドを提示する。	・文書館紹介スライド
2 資料を読み取り、本時の学習内容をつかむ。	○本時が普選運動を中心とした民衆の政治意識の高まりを学習することをつかませる。	・古沢家 28830-2「普通選挙期成同盟の檄」
3 問い①「制限選挙下の日本で人々は、どのように政治に意見を届けようとしたのか」をペアワークで振り返り、発表する。	○ペアで振り返らせる。	

4 原敬内閣成立前後の出来事や衆議院議員選挙法の改正をもとに、選挙権の拡大について理解する。

- ・日比谷焼き討ち事件
- ・第一次護憲運動
- ・米騒動
- ・原敬内閣成立

5 資料をもとに衆議院解散の原因を読み取る。

6 問い②「普通選挙をめぐる原内閣の衆院解散を人々はどのように受け止めたのか」を二つの資料をもとに考え、発表する。



7 問い③「普通選挙運動はどうなったのか」に触れ、男子普通選挙の実現について理解する。

- ・選挙結果
- ・原敬暗殺
- ・第二次護憲運動

8 まとめ

○選挙権拡大の機運が高まっている中での衆議院解散をつかませるとともに、その原因に关心をもたせ、問い合わせ②につなげる。

○ペアに二つのうち一方の資料を渡し、普選に対する人々の受け止め方を読み取らせる。その後、異なる資料を読んだペア同士でグループを組ませる。互いの資料の内容を共有させながら、問い合わせ②の答えを考えさせる。

○学芸員は、普選運動をはじめとする大正デモクラシー期の社会運動について解説する。



・飯野家 1669-3「普選案の議場に突如解散の詔書降る（東京日日新聞切抜）」

・飯野家 1665「不当解散の檄（内閣及び政友会批判）」

・飯野家 1666「此の選挙（普通選挙法批判パンフレット）」

3 担当より

- ・本指導例は、高等学校学習指導要領地理歴史編の「日本史探究 内容 D (3) ア (ア)、イ (ア)」を受けたものです。埼玉県立川口北高等学校で行った出前授業（授業者 鳥居雄羽教諭 令和6年度実施）をもとに作成しています。
- ・資料を通して普通選挙制度に関する民衆の考え方を読み解きます。考え方の異なる資料を2つ用意することで、民衆の政治参加の意識について、理解を深めていきます。
- ・文書館では、明治期の資料が約23万点収蔵されています（令和7年2月現在。収蔵資料検索システムより）。明治政府が埼玉県にあてた令達などの行政文書や、当時の学校で使用されていた教科書や調書などの資料、個人の日記や書状など、様々な資料から、当時の様子をうかがい知ることができます。